

## はじめに

本報告書は、科学研究費補助金(基盤研究(A)(2))による共同研究「東欧・中央ユーラシアの近代とネイション」(代表:林忠行、2000～2003年度、課題番号:12301020)の研究成果であり、北海道大学スラブ研究センター研究報告シリーズによる刊行としては2001年5月に刊行された『東欧・中欧ユーラシアの近代とネイション I』(同シリーズNo.80)、『東欧・中央ユーラシアの近代とネイション II』(同シリーズNo.89)に続くものである。研究会の趣旨は最初の報告書の「はじめに」で詳しく述べたのでここでは省略する。

ここに収録された5本の論文は、2003年11月15～16日に大阪の民族学博物館で開催された研究会で発表された報告をもとにし、各報告者が研究会の後に加筆訂正を行ったものである。本研究会は平成12年度から4年間の計画で始まった。平成13年度からは、スラブ研究センターと民族学博物館・地域研究企画交流センターとの間で連携研究「スラブ・ユーラシア世界の国家とエスニシティ」(代表:井上絃一・帯谷知可)が始まり、この科学研究費補助金を基礎とする研究会は、新たに発足した連携研究と共同の研究会をいくつか持つことになった。この研究会もそうした共同企画のひとつであった。

本来であれば、平成15年度内にこの報告書は刊行されなければならなかったが、諸般の理由で出版は遅れてしまった。研究会の後、速やかに改訂稿をお送りいただいた報告者に不手際をお詫び申し上げる。

平成 16 年 6 月

編者:林忠行、帯谷知可